

新型コロナウイルス感染症の収束を目指して!

新型コロナウイルス感染症・COVID-19は、当初「新型肺炎」と呼ばれました。昨年1月末に中国湖北省武漢市から政府チャーター便で帰還した複数の日本人に感染者が確認され、2月初旬にクルーズ船ダイヤモンドプリンセス号が横浜港に寄港し船客3,500人に検疫したところ、10人もの大量感染が確認されました。この時点で国内感染者は8人だったわけですが、それからわずか1年半後に累計100万人以上が感染し、15,000人を超える尊い生命が失われることになろうとは、誰も想像できなかったことと思われまます。

この間、新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々、ご家族・関係者の皆様に、謹んでお悔やみを申し上げますとともに、罹患された方々に衷心よりお見舞い申し上げます。

また、変異株の出現で、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の先行きが見通せない中、多くの市民の皆様には行動変容にご協力をいただき、感謝申し上げます。おかげさまで本市は、都内では比較的低い感染率を維持しております。

さらに、今なお治療のための特效薬はなく、変異株による感染再拡大の状況において、新型コロナウイルス対策の最前線で懸命に働いてくださっている医師・看護師・医療関係者の皆様、誠にありがとうございます。

現時点で我々ができる最大の防御は、ワクチン接種による予防です。ワクチンは世界的な公共財であり、その供給は日本だけの随意にはなりません。また、その接種速度は、地域の医療資源の充足度とも関連するものです。そうした状況下において、私達は関係者一同力を合わせて、希望するすべての市民に少しでも早く行き渡るよう努めてまいります。

稲城市長 高橋 勝浩

※新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し「躍進する稲城の会主催 稲城市長高橋かつひろ市政報告会」は本年も中止とさせていただきます。

新型コロナウイルス感染症への対応経過

新型コロナウイルス感染症が発生した昨年来、市では感染拡大防止対策・市民への生活支援・市内事業者への経済対策などに取り組んでまいりました。以下に、これまでの対策の概要をお知らせします。

(1) ワクチン接種への取組み

● ワクチン接種体制の整備経過

令和2年12月2日：ワクチン接種プロジェクトを設置、ワクチン接種の準備に着手

令和2年12月24日：ワクチン接種プロジェクトからの中間報告

国は令和3年度前半までに全国民に提供できる数量のワクチンを確保することを目指す。ワクチン接種は市町村・都道府県が実施主体となる。市町村は直ちに実施組織を設置し、接種準備に着手する。凍結ワクチンを保管する極低温冷凍庫「ディープフリーザ」の設置個数と場所を決め、国に回答。当初は集団接種方式しか認められなかったため、選挙の投票所のような配置で市内16カ所の会場を設営するA案と、市内に1カ所の拠点会場を設営するB案の二つの案を検討した。また、最優先順位の医療従事者への接種は、稲城市立病院内で集団接種により実施する方針とした。

令和3年1月8日：ワクチン接種プロジェクトからの中間報告

国の自治体向け説明会での内容を踏まえて、ワクチン接種券を年齢別で段階的に発送すること、ディープフリーザの割り当て個数と設置環境の整備、ワクチン接種の国単価の金額と考え方、自治体向けQ & A等が報告された。先のA案・B案に加え、市内の小中学校等における投票所方式会場16カ所と拠点会場4カ所を巡回するC案を検討した。

令和3年2月10日：ワクチン接種プロジェクトからの中間報告

ファイザー社製ワクチンの小分け条件により診療所での個別接種の実現可能性を検討した。マイナンバー連携による接種記録の管理について全国統一の接種者管理データベース(VRS)が構築されること、稲城市医師会の理事会との協議経過が報告された。医師会としては自院での個別接種の実施を望む声が高まる。

令和3年2月12日：稲城市立病院にディープフリーザが到着

- 令和3年2月14日：**集団接種シミュレーション実施（第1回）**
総合体育館（写真①）
- 令和3年2月16日：**厚生労働大臣から各市町村長へ、令和4年**
2月28日までに予防接種実施を指示
- 令和3年2月16日：**医師会の理事会に出席し、予防接種への協**
力を要請
- 令和3年2月18日：**集団接種シミュレーション（第2回）中央**
文化センターホール（写真②）
- 令和3年3月 3日：**ワクチン接種体制「稲城市モデル」を策定、**
3月8日に市ホームページで公表
- 令和3年3月15日：**「稲城市新型コロナワクチンコールセンター」**
を開設

● **ワクチン接種枠の設定と予約受付**

○ **市のコールセンターでの電話受付・インターネット受付**

- ・開始当初、提供できる接種枠は、**稲城市立病院の集団接種会場**（写真③）と**稲城市医師会**の協力による26医療機関のみでした。市のコールセンター・インターネットでの予約受付対象は、市立病院で実施する集団接種のみで、個別接種は各診療所の電話・窓口での受付であったため、電話がつながりにくく、予約枠がすぐにいっぱいになるという状況が続き、市民の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。
- ・その後、市からの要請に応じて実施医療機関が26から28に拡充し、そのうち17医療機関では市の予約システムからの予約が可能となり、予約の取りづらい状況が徐々に解消しました。
- ・市立病院の集団接種会場では、市内医療従事者への接種が終了次第、順次市民向けの接種枠を拡張しました。（写真④）
- ・ふれんど平尾の集団接種会場は、**医療法人社団 慶成会・よみうりランド慶友病院**の協力により実施することができました。（写真⑤）
- ・中央文化センターと総合体育館の集団接種会場は、**医療法人社団 慶晃会・南山リハビリテーション病院**（本年10月1日開院予定）の協力により実施することができました。

○ **稲城台病院（若葉台）における大規模個別接種**

- ・**特定医療法人社団 研精会**の協力により市の集団接種とは別に実施いただきました。（写真⑥）
- ・稲城台病院の専用予約サイトで予約開始しました。



写真① 総合体育館でのワクチン接種シミュレーション



写真② 中央文化センターホールでのワクチン接種シミュレーション



写真③ 市立病院でのワクチン接種初日



写真④ 市立病院の医療従事者へのワクチン接種開始



写真⑥ 稲城台病院のワクチン接種会場



写真⑤ ふれんど平尾のワクチン接種会場

●接種スケジュール実績・予定（8月11日現在の概念図）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月以降
第1優先順位 ・医療従事者等		4/19 接種開始					
第2優先順位 ・65歳以上高齢者		4/16 接種券発送 4/26 予約受付開始	5/12 集団接種開始 5/18 個別接種開始				
第3優先順位 ・60～64歳 ・基礎疾患患者 ・高齢者施設等の従事者				7/1 接種券発送 7/8 予約受付開始			
第4優先順位 ① 40～59歳				7/1 接種券発送 7/16 予約受付開始			
第4優先順位 ② 16～39歳				7/1 接種券発送	8/11 予約受付開始		
第5優先順位 ・12～15歳					7/30 接種券発送 8/11 予約受付開始		

●ワクチン接種実績（9月1日現在）

区 分 (対象人数)	65歳以上高齢者 (対象者約20,000人)	12歳～64歳 (対象者約62,000人)
第1回目接種件数（接種率）	17,924件（約89.6%）	27,077件（約43.7%）
第2回目接種件数（接種率）	17,266件（約86.3%）	14,247件（約23.0%）
合計接種件数（接種率）	35,190件（約88.0%）	41,324件（約33.3%）

※件数は、ワクチン接種記録システム（VRS）をもとに市が把握している数値です。市外の接種などで入力が遅れている場合などにより、実際の接種数と誤差が生じる場合があります。

(2) 新型コロナ対策予算（補正予算）

新型コロナウイルス感染症対策は、令和2年度・3年度の当初予算とは別に補正予算に計上して適時実施しました。その概要は次のとおりです。

●令和2年度一般会計補正予算（第10号）（令和3年1月臨時議会上程・1月28日議決）

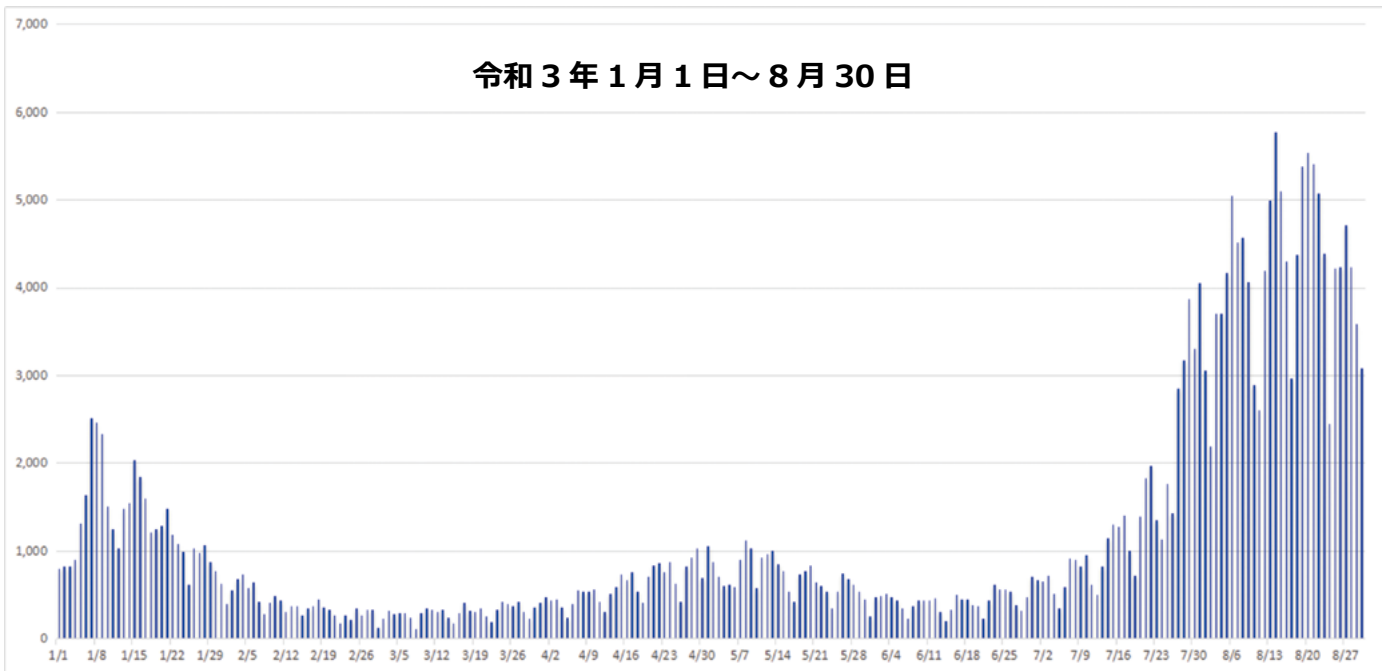
新型コロナ関連歳出総額合計：5億1,028万円

- 庁舎・各公共施設・小中学校の感染防止対策経費（アクリルパーテーション・トイレと更衣室の自動水栓・空気清浄機・非接触体温計・アルコール自動噴射機・消毒用アルコールなどを配備、トイレ洋式化、トイレと更衣室の電灯に人感センサー設置）
- ワクチン接種事業事務局経費（庁舎ネットワーク回線工事、事務局・接種会場用消耗品、通信費等、Web予約システム運営・コールセンター運営委託、パソコン・プリンタ等賃借料）
- 三師会医療提供体制確保協力支援金（医療用資機材の購入費相当を医師会・薬剤師会・歯科医会に交付）
- キャッシュレス決済ポイント還元事業（QRコード決済にポイント還元キャンペーンを実施、ポイント還元率30%、還元額3,000万円）
- 店舗施設整備等事業補助金（市内店舗等が感染予防対策で施設整備等を実施した際の補助金）
- 市内公園遊具整備（外出自粛による運動不足解消のため公園に大型遊具等を整備、市内10地区×500万円）
- 感染対策用資機材の備蓄（N95マスク、感染防止衣、ニトリルグローブ）

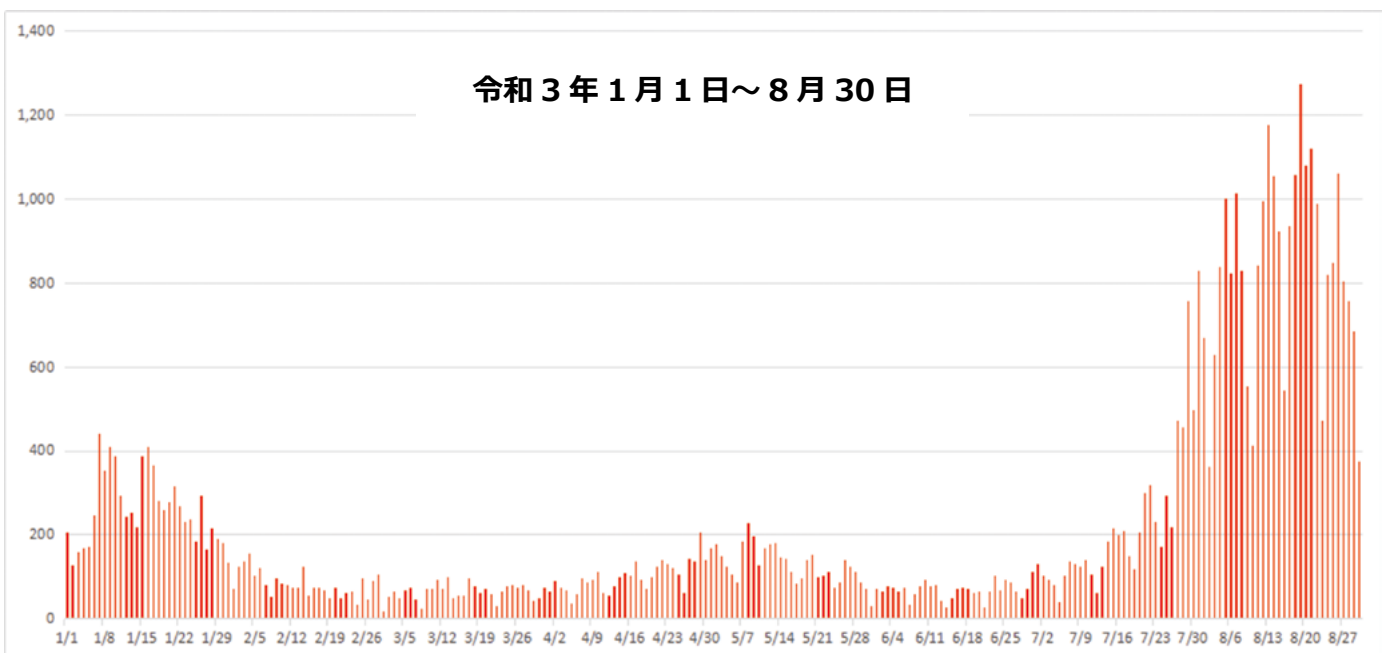
- 高規格救急自動車整備（運転室と傷病者室との間に樹脂製扉を装着、高度救命処置用資機材、搬送用アイソレーター装置等諸経費）
- 避難所用感染対策資機材（マスク、間仕切り、段ボールベッド、手指消毒液）
- 小中学校 GIGA スクール関連経費（タブレット端末の画面を拡大投影する設備）
- 令和 2 年度一般会計補正予算（第 11 号）**（令和 3 年第 1 回定例議会上程・3 月 29 日議決）
新型コロナ関連歳出総額合計：4,085 万円
 - 循環バス運行補助金の増額**（新型コロナの影響で乗客が減少したことに伴う措置）
 - 小中学校の感染防止対策経費（各校に 80 ～ 160 万円の範囲で消耗品費を枠配分、備品購入費）
- 令和 3 年度一般会計補正予算（第 1 号）**（令和 3 年第 1 回定例議会上程・3 月 29 日議決）
新型コロナ関連歳出総額合計：1 億 5,421 万円
 - 押立ふれあい会館のトイレ洋式化
 - 平尾出張所・若葉台出張所・福祉センター・学校給食共同調理場の感染防止対策経費（自動水栓、空気清浄機、トイレ・更衣室の電灯の人感センサー）
 - コワーキングスペース開設**に伴う施設整備経費（地域振興プラザ）
 - 各施設・各事業用の衛生消耗品購入
 - ふれんど平尾体育館バスケットゴール設置工事・空調設備設置
 - 総合体育館空調設備設置工事
- 令和 3 年度一般会計補正予算（第 2 号）**（令和 3 年第 1 回定例議会追加上程・3 月 29 日議決）
新型コロナ関連歳出総額合計：4 億 4,885 万円
 - ワクチン接種事務局・接種会場等の経費**（職員人件費、集団接種会場設営及び運営等業務委託、ワクチン配送等業務委託）
 - 予防接種委託経費**（個別接種・集団接種に関する医師・看護師等への委託経費）
- 令和 3 年度一般会計補正予算（第 3 号）**（4 月 21 日専決処分）
新型コロナ関連歳出総額合計：4,921 万円
 - 東京都出産応援事業**（令和 3 年 1 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日生まれで、子を出産した時点で稲城市に住居登録がある家庭に対して対象児童 1 人当たり 10 万円分の育児用品や子育て支援サービス等を提供）
 - 低所得の子育て世帯生活支援特別給付金事業「ひとり親世帯分」**（令和 3 年 4 月分の児童扶養手当の受給者及びそれに準ずる方に対して対象児童 1 人当たり 5 万円を給付）
- 令和 3 年度一般会計補正予算（第 4 号）**（令和 3 年第 2 回臨時議会追加上程・5 月 14 日議決）
新型コロナ関連歳出総額合計：1 億 200 万円
 - キャッシュレス決済ポイント還元事業の追加**（令和 2 年度一般会計補正予算（第 10 号）で計上した 3,000 万円に 1 億円を追加し、還元額を 1 億 3,000 万円に増額）
- 令和 3 年度一般会計補正予算（第 5 号）**（令和 3 年第 2 回定例議会上程・6 月 30 日議決）
新型コロナ関連歳出総額合計：1 億 7,655 万円
 - 市役所窓口（市民課・課税課・収納課・平尾出張所・若葉台出張所）にキャッシュレス決済を導入
 - 低所得の子育て世帯生活支援特別給付金事業「ひとり親世帯以外分」**（令和 3 年 4 月分の児童手当又は特別児童扶養手当の受給者及びそれに準ずる方に対して対象児童 1 人当たり 5 万円を給付）
 - 職員用タブレット端末の追加配置
 - 新型コロナの影響で収入が減少した被保険者に対する**国民健康保険税の減免**に伴う繰出金増額
 - 頑張れ！稲城の事業継続支援金**（新型コロナの影響により令和 3 年 1 月～5 月のうちいずれか 1 か月の売上減少率が 20%～50%の市内事業者に 10 万円を支給）
- 令和 3 年度一般会計補正予算（第 6 号）**（令和 3 年第 2 回定例議会追加上程・6 月 30 日議決）
新型コロナ関連歳出総額合計：6,647 万円
 - 感染拡大防止対策推進事業補助金**（高齢者施設等において新型コロナ陽性者が発生した際に PCR 検査等の費用を補助）
 - 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金**（社会福祉協議会の総合支援資金の再貸付を終了した世帯等で、住宅確保給付金の支給基準に準じた収入要件・資産要件・求職活動要件を満たした世帯に対して 3 ヶ月間支援金を支給、月額支給額：単身世帯 6 万円×3 ヶ月、2 人世帯 8 万円×3 ヶ月、3 人以上世帯 10 万円×3 ヶ月）
 - 住居確保給付金**（離職等により住居を失った状況及びそれに準ずる状況で、収入要件・資産要件・求職活動要件を満たした世帯に一定期間の家賃相当額の金額を支給、原則 3 ヶ月、最大 9 ヶ月を支給、令和 2 年度中の新規申請者は、再々延長申請により最大 12 ヶ月、支給上限額：単身世帯 53,700 円、2 人世帯 64,000 円、3 人以上世帯 69,800 円）

(3) 都内の感染状況

① 東京都全体の新規感染者数の推移



② 多摩地区26市の新規感染者数の推移



上図は、日々発表される新規感染者数を集計し、都全体分と多摩地区26市分それぞれグラフ化したものです。東京都内では、今年1月に第3波、5月に第4波、7月からは第5波が発生しています。いずれもピークを過ぎても0人近くには下がりきらず、次の拡大局面につながってしまっています。

特に7月からの第5波では、東京の感染においてもデルタ株（インド株）への置き換わりが進んだことに伴い、より強い感染力の影響を受けて急激な増加を示しており、変異株の収束・終息の難しさを表しています。

都全体と多摩地区26市での感染者の増加傾向は、上の二つのグラフを見比べていただければわかるように、同様の状況です。都心部と多摩地域では新規感染の絶対数は異なりますが、その拡大傾向にタイムラグがないことがわかります。

各感染波の増減状況を比べてみますと、第3波の頂点では都全体が1月7日の2,520人・26市が同日の440人、その後の底辺では都全体が3月8日の116人・26市が同月1日の18人、第4波の頂点では都全体が5月8日の1,121人・26市が同日の229人、その後の底辺では都全体が6月14日の209人・26市が同月21日の27人、8月末時点での暫定となりますが第5波の頂点では都全体が8月14日の5,773人・26市が同月19日の1,275人となっており、ほぼ一致しています。

③感染頻度の差異

以上のとおり、都全体と多摩地区 26 市での増減傾向を検証すると、ほぼ同様であることがわかりますが、個別の自治体がすべて同じ傾向ではなく、感染者の多い所と少ない所はあるようです。以下に自治体別の感染者数データを掲載します。

特別区 23 区と多摩地区 26 市を比較すると、人口は約 2.3 対 1 ですが、感染者数は約 4.4 対 1 となっており、人口 1 万人当たり感染者数は約 2 倍の差があります。さらに、自治体ごとの数値を比較するとより大きな差異がありますので、参考にご覧ください。（各自治体の総人口は令和 3 年 1 月 1 日現在、累計感染者数は令和 3 年 8 月 30 日現在です）

○特別区 23 区の感染状況

自治体名	総人口	感染者数 (累計)	人口 1 万人あたり感染者数
新宿区	345,231	16,284	471.7
渋谷区	230,506	9,121	395.7
港区	259,036	9,389	362.5
目黒区	281,317	9,338	331.9
中野区	334,632	11,069	330.8
豊島区	287,300	9,496	330.5
中央区	170,583	5,214	305.7
台東区	203,647	5,916	290.5
世田谷区	920,372	25,389	275.9
千代田区	67,216	1,679	249.8
杉並区	573,504	14,283	249.1
品川区	406,404	10,113	248.8
荒川区	216,535	5,181	239.3
葛飾区	463,691	11,017	237.6
墨田区	275,647	6,540	237.3
大田区	733,672	17,165	234.0
北区	353,158	8,227	233.0
江戸川区	696,123	16,008	230.0
板橋区	570,213	13,073	229.3
足立区	691,002	15,670	226.8
江東区	526,301	11,929	226.7
文京区	226,574	4,828	213.1
練馬区	740,099	15,632	211.2
特別区合計	9,572,763	252,561	263.8

○町村部の感染状況

自治体名	総人口	感染者数 (累計)	人口 1 万人あたり感染者数
瑞穂町	32,568	361	110.9
奥多摩町	4,991	49	98.2
日の出町	16,588	151	91.0
大島町	7,411	64	86.4
御蔵島村	307	2	65.2
檜原村	2,112	12	56.8
新島村	2,633	14	53.2
三宅村	2,383	12	50.4
小笠原村	2,606	10	38.4
利島村	310	1	32.3
八丈町	7,224	14	19.4
神津島村	1,887	1	5.3
青ヶ島村	165		0.0
町村合計	81,185	691	85.1

○多摩地区 26 市の感染状況

自治体名	総人口	感染者数 (累計)	人口 1 万人あたり感染者数
武蔵野市	147,643	2,855	193.4
西東京市	206,047	3,670	178.1
調布市	237,815	4,204	176.8
三鷹市	190,126	3,356	176.5
福生市	57,024	951	166.8
狛江市	83,268	1,335	160.3
立川市	184,577	2,933	158.9
小金井市	123,828	1,941	156.8
八王子市	561,828	8,596	153.0
国分寺市	126,862	1,857	146.4
府中市	260,255	3,795	145.8
町田市	429,152	6,220	144.9
昭島市	113,552	1,615	142.2
稲城市	92,262	1,310	142.0
東久留米市	117,007	1,601	136.8
日野市	187,027	2,530	135.3
小平市	195,543	2,615	133.7
国立市	76,371	999	130.8
武蔵村山市	72,023	936	130.0
多摩市	148,479	1,888	127.2
羽村市	54,725	685	125.2
あきる野市	80,221	992	123.7
東村山市	151,575	1,851	122.1
東大和市	85,317	1,032	121.0
清瀬市	74,905	883	117.9
青梅市	132,145	1,433	108.4
多摩地区合計	4,189,577	62,083	148.2

○東京都全体の感染状況

	人口	感染者数 (累計)	人口 1 万人あたり感染者数
総計	13,843,525	315,335	227.8

フォトニュース

2021 photo news

今年の年初から初夏まで、市政にまつわる各種行事について写真でご紹介します。



1月27日 私が委員を務める「全国市長会社会文教委員会」のWeb会議。本年は各種会議でWeb会議実施が標準に。



3月1日 六小タブレット使用授業を視察。体育館では跳び箱の跳躍姿勢を交互に動画撮影し、グループで確認・意見交換。教室では複数学年クラスで同一のプログラムソフトを操作し、成果をモニターに映し、Web会議で評価・意見交換。



3月7日「第29回稲城平和コンサート」コロナ禍で昨年中止となった同一タイトルを実施。十分な感染防止対策のうえで小松亮太トリオによるバンドネオンを堪能。



3月18日 学校給食共同調理場を視察。旧第一調理場の最終稼働日で、スタッフ全員に御礼のご挨拶と記念撮影。



3月22日 東京オリンピック自転車競技ロードレースのリアルスタート地点付近に「0km」のラッピング広告を設置



3月25日 市立第三保育園を建替え移転民営化し、坂浜小田良地区に建設された「しおどめ保育園稲城」を視察。本年4月1日に「待機児ゼロ」を達成！



3月28日 市役所駐車場（第一～第三）の工事が完成し、有料化を開始。不適切利用と慢性的な満車状態を解消。



4月3日 学校給食新第一調理場竣工記念として試食会を実施。市議会議員等の関係者のほか一般公募市民も参加し検食。



4月7日 全国市長会会長の立谷相馬市長ほか有志とともに萩生田光一文部科学大臣を訪問。GIGA スクール構想実現で今後の経費負担の課題、少人数学級実現への課題などについて意見交換。



4月16日 横田基地を訪問。在日米空軍アンドリューJキャンベル司令官（大佐）に、稲城市からの要望事項を直接陳情。これまでの要請活動により多摩ヒルズ敷地の一部返還などの成果を挙げており、今回はゴルフ場利用・自然散策の受入れなどについて拡充を要請。



5月10日 全国市長会環境対策特別委員会委員長として笹川博義環境副大臣に「地域における脱炭素社会の実現に向けた提言」を提出。2050年カーボンニュートラルの実現、地域の脱炭素化への国の支援、脱炭素化への財源確保などについて要請。



6月12日 田植えイベント「みんなのFUJISAN地球フェスタWA」を実施。ウクライナ大使館関係者の皆さんが参加。



6月29日 稲城中央公園の一画、くじら橋前にサイクルカフェが完成。公募によるプロポーザル方式で選定された ZEBRA COFFEE が運営。五輪自転車ロードレースのレガシーに。

令和3年度当初予算の主な内容

令和3年第1回市議会定例会において可決・成立した当初予算の内容を、第5次長期総合計画の将来都市像「緑につつまれ 友愛に満ちた市民のまち 稲城」の実現に向けて定めた「5つのまちづくりの基本目標」に沿って、概要をご報告します。

I 子育て・教育・文化 ～育ち・学びを通じてだれもが輝けるまち 稲城



- 長峰小学校学童クラブ・平尾小学校学童クラブの民営化（保育時間の延長・学校休業日等の開所時間前倒し、おやつ代の業者管理など民営化によりサービスの向上を図る）
- 第三保育園（定員 78 人）の民営化⇒しおどめ保育園 稲城（定員 150 人）
- 第六保育園（定員 130 人）の民営化⇒大丸ゆうし保育園（定員総数は変化ないが低年齢児の枠を増やす）
- 稲城第二中学校土地購入（地主さんの厚意で無償借用してきた学校用地の一部を買い取る）
- 学校給食共同調理場第一調理場建替移転事業（新調理場は令和3年4月稼働済、本年度は旧調理場の解体工事を実施）
- 南山小学校学童クラブの定員増（50人から80人に定員拡大）
- 第五保育園の定員弾力化（88人から96人に増）
- 給食食材放射能測定の見直し（これまでの測定実績を考慮して休止する）
- 放課後子ども教室事業の見直し（土曜日の参加実績が極めて少ないため月～金曜日の実施とする）
- （稲城版ネウボラ）おやこ包括支援センターつながる事業（令和2年12月に開設したおやこ包括支援センターにおいて、育児パッケージ配布・ファーストバースデイサポート・多胎児家庭支援・移動経費補助・産後ケアなどの各事業を実施）
- 育児支援ヘルパー事業の利用拡大（妊婦・単胎児は利用上限時間を40時間から60時間に拡大、多胎児は利用料を900円から500円に減額し、利用上限時間を48時間から80時間に拡大）
- 稲城第一小学校フェンス設置工事（旧第一調理場の解体に伴い、境界位置に新たなフェンスを設置）
- 学校給食残渣リサイクル業務委託（従来焼却処分していた調理残渣・食べ残しについて堆肥化を実施）



長峰小学校学童クラブ



平尾小学校学童クラブ



しおどめ保育園



大丸ゆうし保育園（旧第六保育園）



第二中学校土地購入



新しい第一調理場

II 保健・医療・福祉 ～だれもが地域で健やかに暮らせるまち 稲城



- 市立病院器械・備品購入（手術室无影灯、病理システム等）

- ひとり暮らし等高齢者の見守り体制整備事業、実態調査実施方法の見直し（民生委員が対面で実施していたアンケートを見直し、回答は市への郵送とする）
- 介護保険料の改定（第8期介護保険事業計画（令和3～5年度）における介護サービス見込量を推計し、保険料基準月額を200円引き上げ5,400円とする）
- 重症心身障害・医療的ケア児者通所事業所整備促進事業補助金（障害児対象の通所事業所1カ所、障害者対象の生活介護事業所1カ所の2事業所を市内に誘致するため、運営経費補助を実施）
- 「福祉くらしの相談窓口」相談体制の継続強化（新型コロナ対策で増員した相談員3人体制を当面維持）
- 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業（国民健康保険・後期高齢者医療制度・介護保険の3つの公的保険情報を合わせて一体的に実施し、高齢者の健康課題に応じた支援を行う）

Ⅲ 環境・経済・観光 ～水と緑につつまれ 活力あふれる賑わいのまち 稲城



- 国有財産管理委託契約に基づく大丸自然公園土地購入（平成29年8月31日に米軍多摩サービス補助施設の一部が日本国に返還された、国有財産のルールに基づき、現状の使用を継続するため1/3の面積を市が買い取る）
- 城山公園テニスコート改修工事（設置から30年以上経過で老朽化のため人工芝コートに改修）



大丸自然公園



城山公園テニスコート

- サイクルレガシーモニュメント設置事業（自転車のまち稲城の象徴と東京2020五輪のレガシーとして、稲城中央公園内サイクルカフェの前に自転車キャラクターのモニュメントを設置する）
- 自治体新電力会社立上げ検討事業（2050年カーボンニュートラルの実現に向けて再生可能エネルギー等の調達・供給を行う新電力会社の立上げの検討に着手）
- 緑被率調査事業（緑の基本計画の改定のため調査を実施。航空写真は防災協定を締結しているクライシスマップパーズジャパンによるドローン撮影を活用）
- 新型コロナウイルス感染症対策特別資金融資あっせん事業（令和2年度第1号補正予算により実施した本事業の貸付期限を令和4年3月31日まで延長）

Ⅳ 都市基盤整備・消防・防犯 ～安全でだれもが安心して快適に暮らせるまち 稲城



- 市道171号線（京王よみうりランド駅北口）整備事業（道路拡幅・転回広場等整備工事）
- 多3・4・12号（都道読売ランド線）受託事業（道路等詳細修正設計・改良工事・用地買収・物件補償）
- 稲城駅南口駅前広場整備事業（南山地区の道路整備の進捗に伴う新規バス路線の予定等を踏まえ、バス乗車場の増設などロータリー内レイアウトを変更）
- 梯子車特別点検整備事業（平成25年導入の梯



京王よみうりランド駅北口



都道 読売ランド線

子車の安全性維持のためオーバーホールを実施)

- 住所整理事業（南山東部地区の住民と住所整理の実施に向けた検討に着手）
- 多7・5・3号線（矢野口・鶴川街道～川崎街道）新設事業（用地買収・物件補償・用地調査）
- 市道638号線等整備事業（坂浜西地区地区計画・新きさらぎ橋～中橋、道路予備設計・地質調査・用地測量）
- 市道537号線整備事業（鶴川街道（百村区間）整備に伴う市道取付道路の整備、用地測量・道路詳細設計・擁壁詳細設計）
- 市道380号線整備事業（狭あい道路整備事業、物件補償・物件調査）
- 鉄道駅ホームドア整備事業補助金（JR東日本が南武線3駅にホームドアを設置する経費の一部を補助、令和3～4年度の2カ年事業、工事は令和4年1月以降の予定）
- 南山東部土地区画整理事業関連下水道工事
- 下水道污水管工事
- 防火水槽整備事業（都道読売ランド線の拡幅による移設、南山東部地区に耐震性貯水槽を整備する）
- 押立堀排水機場ポンプ交換工事（2基あるポンプのうち1基は稼働から36年、前回修繕から22年が経過しており交換を実施、豪雨時の内水氾濫を防ぐ）
- 防災行政無線子局スピーカー増設（坂浜小田良地区の区画整理事業の進捗に合わせ、子局2カ所にスピーカーを増設して聞こえない範囲を解消）



稲城駅南口 ロータリー



梯子車

V 市民・行政 ～みんなでつくる 持続可能な市民のまち 稲城

4 質の高い教育をみんなに	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう

- 海外姉妹都市提携関係事業（7月27日にオンライン締結式実施、稲城市姉妹友好都市交流協会と連携協力した事業実施を予定）
- 旧第一調理場跡地整備事業（建物撤去後、借地返還と市有地処分に向けた区画の整理を準備）
- 「稲城市のお知らせ」作成・放送委託の見直し（多摩テレビの番組内容を改定、広報いなぎ抜粋記事の文字テロップ放送を見直し、市の事業PR動画などを制作して放映する）
- 市制施行50周年記念事業（11月1日で50周年、11月6日に記念式典を開催予定）
- 市制施行50周年記念事業（記念誌作成・市歌作成公表・記念切手発行・記念映画上映会・市民祭り等で狛江市と合同イベント等を実施予定）
- 特別職給与の減額措置（新型コロナの影響による経済活動低迷により市では財政危機アラート状態、必要なサービス水準を確保しながら事務事業を見直し、効率的効果的な行財政運営を遂行する決意と市民生活の厳しさの痛みを共有するため市長・副市長・教育長の給料月額を1年間10%減額）
- ICT運用管理業務支援委託（4月～ICT推進課を新設）



平成27年8月の訪米時に
フォスターシティ市役所前にて



フォスターシティ市議会議場にて市民から歓迎を受ける



フォスターシティとの姉妹都市提携オンライン締結式



旧第一調理場



「5つのまちづくりの基本目標」に添えたロゴマークは、2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」(SDGs)のうち、まちづくり基本目標に関連した開発目標を示しています。

被災地支援関係

令和元年東日本台風（台風19号）

福島県相馬市への長期職員派遣（平成23年6月締結「災害時等相互応援協定」に基づく派遣）

東日本大震災復興支援での職員派遣は、平成31年3月31日をもって完了しましたが、令和元年台風19号による被害を受けたため、令和2年4月1日から再度職員を派遣し、今年で2人目となります。

宇多川の氾濫で道路や橋梁が破壊されましたが、比較的小さな橋の架け替えも工事自体は大規模なものとなり、完了まではもう少しばかり時間がかかりそうです。引き続き、相馬市の早期復興を願って支援を継続してまいります。



橋脚が折れた中橋の架け替え



橋脚が破壊された茄子小田橋の架け替え



洗掘された胡桃坂橋の架け替え

令和3年7月静岡県熱海市伊豆山地区土砂災害

緊急消防援助隊（東京都隊）としての派遣



稲城消防署前にて派遣隊の出発式



土石流発生現場での捜索・救助活動

7月3日10時半頃、静岡県熱海市伊豆山で大規模な土石流が発生。13時30分に消防庁長官から東京都に対し、次いで同45分に東京都から稲城市消防本部に対し、緊急消防援助隊出動準備要請があり、17時23分に出動、東名高速道路海老名SAで東京消防庁派遣隊と合流し、熱海市に向かいました。

この第一次派遣隊は5日まで活動して第二次派遣隊に交代し、7日に第三次派遣隊に引き継ぎ、10日9時に救助活動を終了しました。稲城市消防本部からは8日間で3隊延べ23人を派遣し、東京消防庁からの108隊延べ374人と合同で東京都隊として行方不明者の捜索と救助活動を実施しました。

救助活動中も土石流の兆候があり、活動を中断して緊急避難しなければならない状況の中、当初は重機も入れられず手作業の活動となり、たいへん過酷な現場であったとの報告を受けました。

行方不明者の救助はできなかったものの、出動したすべての隊員が貴重な経験ができ、今後の活動に活かしていきたいとの所感を発表してくれたことを頼もしく感じます。おつかれさまでした。



発行：躍進する稲城の会

発行責任者：原田富雄

事務所：稲城市矢野口2356

電話：042-378-3820

FAX：042-379-8088

e-mail：yakushin@katchan-inagi.com

ホームページ：katchan-inagi.com

Facebook：www.facebook.com/katsuhiro.takahashi.3

twitter：http://twitter.com/inagiKatchan